

東京大学柏キャンパス一般公開 2019

スーパーコンピューティング部門

2019年度の東京大学柏キャンパス一般公開「柏で感じる！令和の科学」は10月25日(金)～26日(土)に開催されました。情報基盤センターでは「スパコンで安全・安心な社会へ」をテーマに、スーパーコンピュータ Oakforest-PACS、Oakbridge-CX の見学およびガイドツアー、三次元可視化システムの体験、ポスター展示およびビデオ上映を実施しました。25日(金)は大雨の影響で、やや客足が鈍りましたが、初披露となった Oakbridge-CX システムの見学者数が増えたため、合計では昨年を大幅に上回る来場者数となりました。

【2日間の参加者】

スーパーコンピュータ見学者 729名 (昨年比 +265人) 1日目 143名、2日目 586名
うちガイドツアー参加者 176名 (昨年比 ▲46名) 1日目 52名、2日目 124名
三次元可視化システムの体験 137名 (昨年比 ▲52名) 1日目 24名、2日目 113名

なお、見学・ガイドツアーおよび可視化システム体験の運営について、JCAHPC(最先端共同 HPC 基盤施設)を共同で運営している筑波大学計算科学研究センターに協力をいただきました。



Oakforest-PACS のガイドツアーおよび3次元可視化システム体験の様子